



ヤマアワ

1、防鹿ネットの設置

葦毛通信 No. 138 でニホンジカの食害の可能性について報告しました。文化庁の許可が下りたのでノカンゾウが多く自生していた三の沢の下流に防鹿ネットを設置しました。今回は、緊急に対処する必要があったので、できる限り安価でできる方法にしました。長さ100m分を用意しましたが、費用は約32,000円でした。

1) 防鹿ネットの構造

ネットの高さは2m、網目は5cm以下で長さは100mのものを用意しました。柱は直径10mmの鉄棒で、地面に直接打ち込みますが、そのままでは弱いので、農業用の紐で地面や立ち木に固定する方法にしました。右図は防鹿ネットの構造図です。

2) 防鹿ネットの作り方

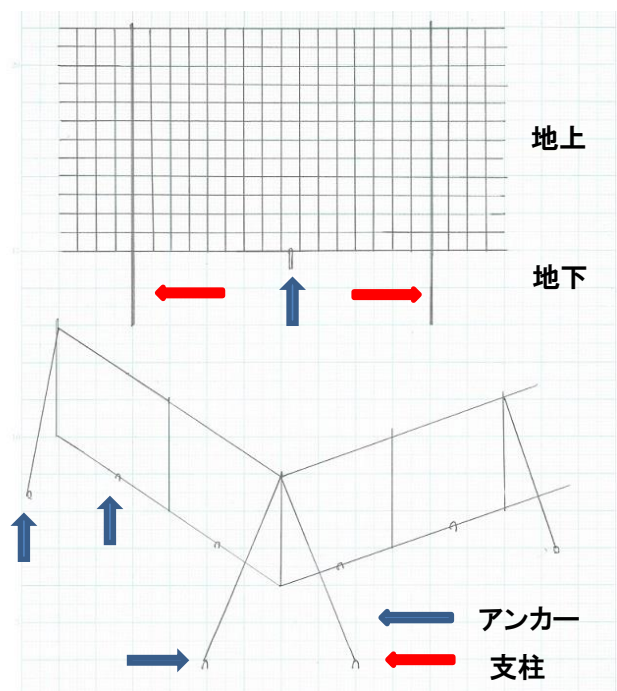
材料はホームセンターで揃えました。支柱とアンカーは直径10mm、長さ5,400mmの異型丸棒を使用し、支柱は半分に切って2,700mmのものを60本、アンカーは300mmに切って90本用意しました。切る作業はホームセンターに道具があるので、そこで行いました。アンカーは発掘現場で使うパイプの脚立の脚に差し込み、出た部分に別のパイプを差し込んで折り曲げて作りました。

ネットは網目1.6cm、高さ2m、長さ50mの動物ガードという商品を2本用意しました。実際に使ったのは長さ70m程度でした。

3) 防鹿ネットの設置方法

ネットで囲う範囲を決めて支柱を約2m間隔で打ち込みました。葦毛湿原はほとんどが礫層なので、大型の鉄のバールを突き刺して穴をあけ、そこに鉄棒の支柱を打ち込んでいきました。支柱は270cmで、高さが2mで設置できるように、70cmのところ黄色のテープを張り、そこまで打ち込むようにしました。ネットは針金で支柱に固定し、支柱の先端と周りの立ち木や地上に打ったアンカーに紐（農業用の黒いブレードテープ）で固定しました。アンカーが効かないところは、上に人頭大の大きな礫を置いて固定しました。

設置後、3か所にシカの食害対策のためにネットを設置したという説明看板を設置しました。また、センサーカメラには、これまでのところ、ニホンジカ（メス）とニホンイノシ



防鹿ネットの構造図



支柱設置作業（2023年6月20日）



ネット設置作業（2023年6月20日）



アンカー、石頭鎚、針金



アンカー設置状態（2023年6月20日）



ネット設置後：西から（2023年6月20日）



ネット設置後：北から（2023年6月20日）

シカが写っていました（次頁上写真）。ニホンジカはいずれもメスが3回ほどセンサーカメラに写りましたが、ネット内には侵入していません。ニホンジカは2頭のメスがネットの横で地面に近い所の植物を食べているところも動画で確認できました。自然歩道沿いのササや四の沢にもシカの食痕と考えられる痕跡が見られます。ニホンジカやニホンカモシカによる食痕は確認できましたが、どの程度の被害があるのかはこれから調査を進めます。



ニホンイノシシ (2023年8月14日)



ニホンジカ・メス (2023年7月8日)

2、オオスズメバチの巣

三の沢下流のD地点の木道のすぐ脇に、オオスズメバチが巣を造りました。手を伸ばせば届きそうな位置にあり危険なので、木道を一時通行止めになりました。オオスズメバチの巣を除去するには、葦毛湿原は国指定天然記念物なので、国に対して現状変更の許可を受ける必要があります。現在申請中で許可が下り次第、巣の除去作業を行う予定です。



巣のあるところ



巣の入口とオオスズメバチ



南側通行止め状況



北東側通行止め状況

許可されるまでの間に少しでも被害が出ないように、スズメバチ用の駆除エサを巣の入口の立ち木の枝に設置しました。しかし、しばらく観察しましたが、オオスズメバチはまったく飛来しません。台風7号の後には枝から落下して巣の入口のすぐ脇に落ちましたが、まったく関心がないようです。これまでのところ、駆除エサによる駆除の効果は見られません。



駆除エサ設置状況

3、葦毛湿原秋の観察会

国指定天然記念物「葦毛湿原」の秋の観察会を行います。シラタマホシクサ、サワシロギク、ワレモコウ、イワショウブ、キセルアザミ、ミミカキグサ類等の夏から秋の花が見ごろになります。

月日：9月3日(日)

時間：9：30～11：30

場所：葦毛湿原(豊橋市岩崎町字長尾)

集合：長尾池公園東屋

申込：8月1日(火)から、豊橋市文化財センター(0532-56-6060)に電話で申し込み、集合・解散は現地

開催：少雨決行

葦毛湿原では、毎年春と秋に観察会を行っています。ぜひ、ご覧ください。



シラタマホシクサ

葦毛湿原を代表する初秋の花



イワショウブ



ワレモコウ



シラタマホシクサ



サワシロギク